

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立前田北小学校 5年生 63名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックに関する知識を得るとともに、オリンピックの経験談を聞くことにより、夢をもって粘り強く努力することの大切さ、仲間との支え合い、周囲への感謝の気持ちが大切であることを理解する。
5 取組内容	総合的な学習の時間での札幌オリンピックミュージアムへの現地学習。バイアスロンのオリンピックである目黒宏直さんの講話、学芸員による館内展示資料の説明、体験アトラクション、ジャンプ台見学を行う。 帰校後は、聞いてきたこと、見てきたこと、調べてきたことを整理する。さらに、事前、事後の調べ活動のもと、「オリンピック・パラリンピックパンフレット」を作成していく。 ○指導計画 [総合的な学習 15時間扱い] ・知っていることで3択問題を作ろう ・友達の問題で気になったことを調べよう ・オリンピック・パラリンピックを知ろう ・オリンピックに会ってみよう(本研究) ・見つけてこよう(本研究) →ワークシートを用意し、その場でのメモ、帰校後のまとめに利用した。 ・平昌オリンピック報道で見つけよう

- パンフレットにまとめよう
- 交流しよう。全校へ発信しよう。

札幌オリンピックミュージアム



目黒さんの話を聞く



館内体験コーナーに挑戦

パンフレットにまとめる!



全校にクイズとして発信!



6 主な成果

- 小学生にとってのオリンピック・パラリンピックへの興味は家庭によるものが多く、その興味もマスメディアに取り上げられる選手、競技に及ぶものだが、オリンピックに会うことができ、あまり取り上げられない種目への着目、結果だけではなく、選手の努力にも目が向くことができた。スポーツだけでなく、夢を持ち、そのために努力すると得られることを感じられた。
- オリンピックには講話だけでなく、直接話せる機会を設けていただき、野球、バスケットボール、サッカーなどをやっている子供たちは、「頑張ります。」「夢をつかみます。」「私もオリンピックへ・・・」と日常では話づらいことも声に出すことができた。
- スキー学習で行くサッポロティネスキー場、平昌オリンピック報道、2020東京オリンピック、2026札幌オリンピック招致への興味を喚起することができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> •札幌オリンピックミュージアムに行ったものの体験的な活動の時間がほとんどなかった。子どもたちの興味、体験して得るものを考えると午前だけでなく、午後からの見学時間があってもよかった。 •本校の総合的な学習で継続的に「オリンピック・パラリンピック」を実施していくことを考えると、今回とオリンピックの講話が聞けない場合、オリンピック開催年でない場合の差を大きく感じる。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。